

＜対策のポイント＞

福島をはじめ東北の復興を実現するため、労働力不足や環境負荷低減などの課題解決に向け、スマート農業技術を活用した超省力生産システムの確立、再生可能エネルギーを活用した地産地消型エネルギーシステムの構築、新たな農林水産資源の生産・開発等を進め、若者から高齢者まで誰もが取り組みやすい超省力・高付加価値で持続可能な先進農業を実現する。

＜政策目標＞

令和11年度までに全国展開可能な地域循環型経済モデルのプロトタイプを構築

＜事業の全体像＞

① 多様な従事スタイルを実現する生産システムの構築・実証

- 労働力不足や遠方のほ場での営農等の課題解決に向け、遠隔監視による複数ほ場を自立的に移動・作業する農業制御システムの構築等の省力栽培体系を構築



小型トラクターの無人走行の様子



ロボット除草



自動走行トラクタの遠隔監視

② 農山漁村エネルギーネットワーク・マネジメントシステムの構築・実証

- 施設園芸における熱利用や二酸化炭素による光合成促進等の環境制御に係るコスト低減に向け、循環型資材等を用いた熱・電気・CO2活用技術やデータ駆動型の栽培体系を構築



バイオマス作物



環境制御装置付ハウス



ヒートポンプ（空気熱源）

③ 先端技術を活用した害虫防除・鳥獣被害対策システムの構築・実証

- 拡大する鳥獣や病虫害被害に対応した、センシング等の先端技術を利用、組み合わせた防除技術の有効性・安全性等の実証研究を行い、効率的な防除体系を構築



鳥獣による農作物被害



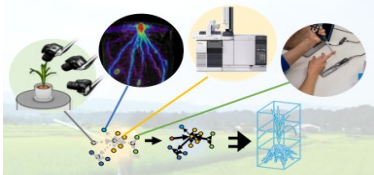
捕獲檻に入ったイノシシ



ハウス栽培の様子

④ 新たな農林水産資源の開発及び生産・活用

- 大学や民間企業等との連携による新機能素材や漢方薬原料等への活用可能な農林水産資源の有用性の評価等を実施し、実用化に向けた栽培技術体系の構築や種子・種苗の効率的な高速増殖技術を開発

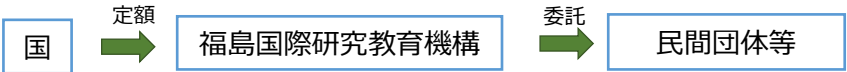


原料生産



DNA遺伝配列分析機器

＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究企画課（03-3501-4609）  
農林水産技術会議事務局研究推進課（03-6744-7043）